

県連ニュース

2008年3月1日発行
栃木県勤労者山岳連盟

第33回定期総会の開催について・・・	1
栃木県連ハイキング楽校6期生募集・・・	2
2008年栃木県連盟登山学校開催要項(第6回)・・・	4
栃木県連ハイキング楽校実技山行(雲竜渓谷)・・・	6

第33回定期総会の開催について

記

1. 日時・場所

2008年 3月16日 (日曜日) AM 9時15分より
宇都宮市中央生涯学習センター
3階 学習室

2. 議題

1. 2007年度 活動のまとめと活動方針(案)
2. 2007年度一般会計・特別会計の決算報告
3. 2008年度一般会計・特別会計の予算(案)
4. 役員を選出
5. その他

栃木県勤労者山岳連盟 発行責任者：田村宣男 編集責任者：橋田弘一
321-0345 宇都宮市大谷町1109 TEL 028-652-4694
<http://www.geocities.jp/tochigirosan/>

県連ハイキング楽校6期生募集

安全で楽しく豊かな山行をいつまでも続けていきたい！

もっと山の知識や技術を身につけたい！

アルプスにも行きたい！

健康で安全に楽しく豊かなハイキングを、いつまでも続けて行きたい・・・
これは全てのハイキング愛好者の強い思いです。

この思い・夢を形にするために開校されたのが県連ハイキング楽校です。
1期生32名・2期生31名・3期生23名・4期生23名・5期生32名と多くの方が受講、楽しく学べると楽校として継続留年される方も沢山います。

ハイキング楽校は受講生の皆さんの体力・実態・目線にたって、安全に・楽しく・知識・技術・体験を身につけられるよう授業内容と講師陣の努力が行われています。皆さんが誘いあって参加されることを心からお待ちしています。

6期生募集内容は・・・

- 《期 日》 5月24日（土）～翌年4月まで
- 《場 所》 机上＝下野市国分寺公民館 19時～21時
実技＝別紙授業予定を参照ください
- 《講 師》 日本山岳ガイド協会認定ガイド、県連内外講師
- 《何 人》 30名
- 《費用は》 会員35000円、会員外40000円。
(実技交通費・宿泊費等は含まれません)
(受講生以外のオープン参加は机上1回500円、
実技は山行参加費＋1日1000円とします)
- 《内容は》 机上12回・実技13回。計25回、その他有志宿泊山行
(詳細は別紙開催要項及び授業予定を参照ください)
- 《申込み》 吉岡昌徳（宇都宮ハイキングクラブ）
TEL = 028-653-5956
携帯電話 = 080-1099-4043
E-mail = myoshioka-m@nifty.com
- 《締切り》 4月30日（申込みは先着順となります）

県連第6期ハイキング楽校授業予定

主催 = 栃木県勤労者山岳連盟 主管 = 県連教育部

講習内容 = 机上講習 12回、実技山行 13回 = 計 25回

No.	期 日	授業内容 太字は実技山行
1	5月 24日(土)	開校式。登山界の現状。服装・装備。計画・準備。 ザックパッキング。自分の体を知る。宿泊交流。
2	5月 25日(日)	古賀志山 = 安全で疲れにくい歩行法。ストック活用法
3	6月 12日(木)	読図、進む方向は？あの山は？現在地は？)
4	6月 15日(日)	磐梯山 = 読図・安全で疲れにくい歩行法
5	6月 29日(日)	ハイカーのためのレスキュー講習会(冒険センター)
6	7月 17日(木)	読図、気象、あの雲が出ると(観天望気)
7	7月 20・21日 (日・月)	木曾駒・宝剣・御嶽山 = 読図・観天望気
8	8月 14日(木)	読図、渡渉、事故対応
9	8月 17日(日)	東黒沢 = 読図、渡渉、事故対応
10	9月 11日(木)	難場通過法、事故対応
11	9月 14日(日)	谷川岳 = 読図、難場通過
12	10月 2日(木)	小屋泊りと計画準備・総合
13	10月 11～13日 (土～月)	南八ヶ岳山行 = 総合実技講習
14	11月 13日(木)	岩場登降法・ロープ結束・活用法
15	11月 16日(日)	鹿沼岩山 = 岩場登降法・難場通過法
16	12月 11日(木)	固定ロープ・マッシャー登降・懸垂下降
17	12月 14日(日)	鹿沼岩山 = 固定ロープ・マッシャー登降・懸垂下降
18	1月 8日(木)	雪山の魅力と危険、装備、歩行法
19	1月 11日(日)	赤薙山 = 雪上登降・ラッセル・ストック・ピッケル活用法
20	1月 29日(木)	雪山・氷上歩行技術
21	2月 3日(火) 5日(木)	雲竜溪谷or霧積温泉 = 氷上・雪上歩行技術 (2/3と2/5の2班に分けて実施)
22	3月 12日(木)	雪上歩行、滑落停止法、基礎的ロープワーク
23	3月 14・15日 (土・日)	安達太良山 = 雪上歩行、滑落停止、基礎的ロープワーク
24	4月 9日(木)	意見交換・卒業山行準備
25	4月 12日(日)	谷川岳 = 総合実技卒業山行

実技山行期日・場所の変更はありえますので、ご了承ください。

連絡先=吉岡昌徳 Tel : 028-653-5956 (携帯 080-1099-4043)

E-mail : myoshioka-m@nifty.com

2008年 栃木県連盟登山学校開催要項(第6回)

タイトル 初級岩登りスクール

サブタイトル アルパイン・ロッククライミング・テクニクの基礎

これから岩登りを始めたい、基礎技術・知識を身に付けたいと希望する会員及び一般参加希望者を対象に、「初級岩登りスクール」の受講生を募集致します。

1. 入校の対象と条件

- 1)これから岩登りの技術・知識を身につけたいと希望する方
- 2)机上・実技を含めた各コースの講習に参加できる方(年齢・性別は問いません)
- 3)登山会員は、特別基金(遭対基金)に5口以上の保険に加入していること
- 4)登山会員以外の参加者は、「登山・特別基金(遭対基金)」5口と同等条件以上の保険に加入していること、または特別基金5口に加入すること。

2. 講習期間 2008年 5月 13日(火)～8月21日(火)

3. 講習料 登山会員 35,000円 登山会員以外の一般参加者 40,000円
(但し実技講習の交通費、宿泊費、食費などは含みません)

欠席されても、講師の手配や会場の都合などの運営に支障をきたしますので、受講料の返却はいたしませんので、予めご了承下さい

4. 定員 10名 定員になりしだい締め切ります。なお、定員に満たない場合は実施しないことがあります。予めご了承下さい

5. 会場 開校式・修了式および机上講習『雀宮市民センター又は小山中央公民館』

6. 机上講習時間 午後7時30分から午後9時30分まで

7. 実技講習場所 古賀志山、藤坂RG、三つ峠、その他

講師 日本山岳ガイド協会所属 上級登攀ガイドを予定

8. 申込み方法及び申込み先

次の宛先に必要事項を記入のうえ、FAX又はE-Mail/又は郵送で申込みください。

今野善伸(野木山想会) 〒329-0101 下都賀郡野木町友沼 5912-9

電話:0280-57-2473 FAX:57-2485 E-Mail: yo-konno@r3.dion.ne.jp

9. 申込締切り 2008年 4月30日(水)

10. その他 聴講生の募集

机上学習のみの聴講生も、募集いたします。詳細は今野までお問い合わせください。

項目内容

開校式 オリエンテーション

岩登りの基礎技術

岩登りの魅力と基礎知識

アンザイレンの意義とザイルの結び方の基礎

岩場の呼称とグレード・用具解説

バランスクライミングの基礎

セルフビレイ・トップロープによる確保

バランスクライミング・クライムダウン

懸垂下降・リードとフォロー

岩登りの基礎技術

懸垂下降・リードとフォロー

リードの確保・セカンドの確保

落停止後の処置

ザイル(ロープ)ワーク

岩登りの基礎技術

フェイスクライミング

人工登攀

ハンドホールド・フットホールド

バランスクライミング

クライムダウン、ハーケン・ボルトの打ち方

人工登攀の用具と用法

救急法と搬出技術

遭難事故解説

応急手当・救命処置・三角巾の使い方

平地での搬出技術

岩登りの基礎技術

アンザイレンでの登攀

リードとフォローの役割

マルチピッチの登攀

ザイルワーク

合図のやり方

懸垂下降(支点のセット)

ザイルの回収

ザイル回収不能の場合の処置

具体的なコース日程

5月20日(火) 開校式+机上講習 小山中央公民館

19:30~21:00 オリエンテーリング(役割分担・運営体制)と岩登りの基礎

5月24日(土)~25日(日) 基礎レッスン (1泊2日)

水上藤原・きゅう然庵 クライミングボード

POINT:クライミングに関する基本的な技術を理解する。 宿泊費2,000円位

レスキューの基礎 搬出の基礎

6月14日(土) 基礎レッスン 藤坂ロックガーデン

POINT:基本的な技術を実践する。

基本的なセーフティシステム(ロープ、結束の手順、ヘルメット、ハーネス、ランナー、カラビナ)

ピレイング(確保)、ラベリング(懸垂下降)、フェイスクライミング

6月15日(日) 基礎レッスン 藤坂ロックガーデン

POINT:基本的な技術をマスターする。

基本的なセーフティシステム(ロープ、結束の手順、ヘルメット、ハーネス、ランナー、カラビナ)
ブレイング(確保)、ラベリング(懸垂下降)、フェースクライミング

7月6日(日) 基礎レッスン 古賀志ロックゲレンデ

POINT:基本的なリード技術を理解する。(雨天の場合、室内壁に変更)

リーディング(ルート、プロテクション、判断、ダブルロープテクニック、クラックテクニック)
ラベリング(懸垂下降)マルチピッチの下降

8月9日(土)～10日(日) 基礎レッスン 三つ峠のロックゲレンデ

POINT:基本的なリード技術を実践する。宿泊費8,000円位

リーディング(ルート、プロテクション、判断、ダブルロープテクニック、クラックテクニック)
ラベリング(懸垂下降)マルチピッチの下降

参加条件は、前3回のいずれかの講習に参加していること

実践についてはインストラクター同伴での入替えシステム

8月21日(木) 閉校式 19:30～21:00 小山中央公民館 修了書の授与

第11回実技山行～雲竜溪谷～

～氷上歩行、ピッケル活用法～

日時： 2008年2月5日(火):参加者14名(講師含む)

2008年2月11日(月):参加者15名(")

天気：晴時々曇

コース：東武日光駅集合＝雲竜溪谷登山口・・・雲竜溪谷(氷上アイゼン歩行等)・・・登山口

当初予定していた2月11日(月)の混雑が予想されたので、2月5日(火)、2月11日(月)の2日に分けて、第11回実技山行～雲竜溪谷～が行われた。今回の実技講習の主なメニューは下記の2項目です。

(1)氷上アイゼン歩行、渡渉、ピッケル活用訓練

(2)フロントポイント活用、シングルアックス登降訓練

今回は2月5日(火)班の実技山行を中心に紹介します。

雲竜瀑直下へは、やや垂直に近いほどの凍った滝を2箇所通過しなければならない。

本来はここで氷壁登降訓練の予定であったが、今年の雲竜渓谷は、氷の状態が悪く（水凍りの状態で本来の硬いブルーアイスになっていない。）万全でない為、通過することが出来なかった。

ただ、2月5日組の皆さんは、巻き道を通って雲竜瀑へ行こうと難場通過訓練を兼ねてトライしたが途中で断念！！（写真撮影のみ）



手前の凍った滝にて（上部が雲竜瀑）



巻き道からの雲竜瀑

そんな訳で、残念ながら雲竜瀑へは行くことが出来なかった。しかし、話には聞いていましたが、こんな素晴らしい氷の世界がありました。

<氷上アイゼン歩行、渡渉訓練>

アイゼンを着けて渓谷を歩くと雪の下の岩にアイゼンの爪が引っかかりバランスを崩したり、表面が氷化している傾斜をトラバースする時の氷上アイゼン歩行。また、時には氷りが割れて沢に落ちたりするので油断できない。

氷の状態を確かめながらの渡渉、ピッケルやダブルストックを活用した渡渉時のバランス確保などなど・・・。

雲竜渓谷へ行くことそれ自体が、氷上アイゼン歩行、渡渉、ピッケル活用の訓練でした。



3段とび渡渉です



友知らずに行く



氷の斜面をトラバース



友知らずに行く



雲竜渓谷に行く



もうすぐ雲竜瀑取付きだ

< 雪山難場通過訓練 >

氷壁登降訓練をする予定の滝の取付き部に来て見ると、氷の状態が悪く、万全でないとの大貫C Lの判断（水凍りの状態で本来の硬いブルーアイスになっていない。）で、氷壁登降訓練を別の場所に変更して、難場通過訓練を兼ねて、滝を登らずに雲竜瀑へ行ける巻き道に行くことになった。

立木に支点を取り、補助ロープで確保しながら急斜面を登り、巻き道をトラバースし、雲竜瀑をも見通せる場所に到達した。

大貫C Lから、その先のルートと時間的余裕を勘案し、引き返すとの指示が出された。引き返す時、急傾斜の表面が凍っている雪面を懸垂降下で下りる訓練を実施。



補助ロープで確保する準備

巻き道をトラバース

雲竜瀑が見える！残念ながら引き返す

< 氷壁の登降訓練 >

まず、大貫C Lから氷壁の登降に関する下記内容の指導があった。

アイゼンのフロントポイント（前爪）の蹴り込み位置や角度など

シングルアックス（ピッケル）：ピック打ち込み方や確保の方法

ダブルアックス（アイスクライミング用）の使用法など



大貫C Lの指導



登降訓練開始



打ち込みが弱い！



アイゼン上げ過ぎ！



氷壁の登降訓練



楽しくなってきた！

その後、4グループに分かれて、訓練を開始、10本爪以上のアイゼンとピッケルでの氷壁の登降訓練を行う。

訓練に入ると皆さん夢中になり、時間オーバー。

お陰で登山口駐車場に着く頃は真っ暗でした。でも、素晴らしい氷の世界を体験でき大満足の日でした。



2/5（火）班の皆さん

<2008年2月11日(月)雲竜渓谷実技山行の様子>



渡渉です



大貫CLの指導



氷壁登降訓練



氷壁登降訓練



氷壁登降訓練



友知らずに行く



友知らずを渡渉



友知らずに行く



氷の斜面をトラバース



2/11(月)班の皆さん

以下、ハイキング楽校生の感想文を読んでください。

<第11回実技山行記録、感想文>

「雲竜渓谷～氷上歩行(2008年2月11日)～に参加して」

野木山想会 Y・S

今回は林道ゲート前の駐車場は6台位のスペースしかないのと休日は早くからこの駐車場が一杯になってしまうため、2月5日(火)と11日(日)に分けて実施された。

11日の参加者は16名で東武宇都宮駅前7時集合し林道ゲート前の駐車場に向かったが、心配した通りすでに狭い駐車場は一杯で林道沿いに少し戻った所に駐車スペースを見つけやっと駐車できた。

全員でストレッチ後、つづら折りの舗装された林道のだらだら歩きが結構長く続く。一昨日に降った雪と一部アイスバーンになっている道は結構気を使うが、風も無く非常に暖かく汗ばんできた。前方に雪を被った女峰山や赤薙山が青空にくっきりとそびえ立っている。やや平坦な広い場所で休憩後、ストックを長めにしいよいよ林道コースに別れをつけ急な下りを慎重に渓谷に降りた。雪の間から川の流れが顔を覗かせていて川に落ちないように緊張しながら歩を進める。大貫先生が慎重にルートを探りながらトップをひいてくれるので私達はその後を安心してついて行く。しばらく行くと左右にツララや氷柱が見えて来て歓声をあげる。初めて見る私にとっては目の前のツララのカーテンに感激したが2年前はもっと氷柱が長く、太かったそうで川も凍結していて対岸に渡りツララのカーテンの裏側を通り抜けたそう。

途中でアイゼンとハーネスとヘルメットを装着し、急な下りを降り、川幅も広く水量もあるところを渡った場所で昼食になってしまった。余談であるが川原で昼食を食べていると氷瀑見学ツアーらしき一団が軽装でやって来た。良く見ると色々な国の外人さんの寄せ集めで、装備や服装もまちまちでこの様な辺鄙なところにはるばる氷瀑を見学にくるツアーがあることに驚いた。

昼食後、いよいよ今日の目的の「氷を楽しむ講習会」である。5メートルくらいの氷壁をピッケルとアイゼンを使って登る訓練だ。座学でアイゼンのフロントポイントの活用法やピッケルの打ち込み方を教わったが、余りぴんと来ていなかった。大貫先生と八木原先生が楽しそうに軽々と氷壁を登るのをみて、最初はこわごわアイゼンを蹴り込み、ピッケルを打ち込んでいたが、“踵をあげないで”“平行に肩幅で”“脇をしめて手首の返しで”と下からの激励に、徐々にコツをつかみ、夢中になっていた。気温が高かったせいで氷も緩んでいたせいで、思ったより簡単に氷壁を登ることができとても楽しかった。

講習会を切上げていよいよ雲龍溪流の氷瀑見学に出発。左側斜面を急登し、高台の広場に出るとうっすらブルーの氷瀑が前方に見え「ワー」という歓声。凍結した階段を降り、雪の川原を踏み跡に沿ってさらに近づいていくと左側の壁一面を高さ10mほどの青白い巨大な氷柱とツララが覆っていて光を浴び輝いている。垂直にのびた氷柱やツララをアイスクライミングの人達が2本のピッケルとアイゼンで登っているのを横目でみながら、先ほどまで講習でやっていたことはアイスクライミングの入り口に立っただけだとわかった。時折、折れたツララが落ちてきて、下のビレイヤも油断できない。また、ほとんど真下に近い所から真上を見ながらビレーしているのは首が疲れて大変だろうとなどと思いながら下の川に落ちないように慎重に移動する。「友知らず」を過ぎた所でタイムオーバー、今日は時間の関係でここまでで引き返す。

雲龍瀑はこの先にあり100m位の3段の滝が全面氷結したその景観は圧巻らしい。絶対来年は雲龍瀑まで行くぞ！！後ろ髪を引かれながら着た道を戻る。今回は氷の世界をちょっぴり覗いただけだったが岩といっしょで何か引かれるものがあり充分満足した。